

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【公開番号】特開2003-14470(P2003-14470A)
 【公開日】平成15年1月15日(2003.1.15)
 【出願番号】特願2001-200093(P2001-200093)
 【国際特許分類第7版】

G 0 1 C 21/00
 G 0 6 F 17/30
 G 0 8 G 1/0969
 G 0 9 B 29/00
 G 0 9 B 29/10

【F I】

G 0 1 C 21/00 B
 G 0 6 F 17/30 1 7 0 C
 G 0 8 G 1/0969
 G 0 9 B 29/00 A
 G 0 9 B 29/00 Z
 G 0 9 B 29/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月8日(2004.10.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

6は通信部であり、所要時に無線通信でインターネット40と接続するとともに、インターネット40の上に存在する地図表示支援装置に対して地図配色パターンの要求信号を送信したり、地図表示支援装置からインターネット40経由で送信された地図配色パターンを受信したりする。7はマイコン構成の本体部であり、この内、8はCD-ROM4aから読みだされた地図データまたは道路データを一時記憶するバッファメモリ部、9は誘導経路データを記憶する誘導経路記憶部、10は経路探索部であり、CD-ROM4aから道路データを読み出し、出発地から目的地までを結ぶ最適な経路を探索し、該探索した経路データを誘導経路データとして誘導経路記憶部9に記憶させる。11は地図の要素毎の配色の組み合わせである地図配色パターンを複数のN組(Nは例えば5~100の整数)記憶可能な地図配色パターン記憶部であり、地図配色パターンに対応付けて名称と使用条件を示すフラグも記憶可能になっている(図2参照)。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

なお、地図配色パターン使用モードがマニュアル優先モード、時間帯優先モード、経路誘導優先モードのいずれかのときに、これらのモードをオフし、元のノーマルモードに戻したいとき、操作部5で地図配色パターンの使用モードをノーマルモードへ切り換える操作をすると、登録部13はモード記憶部12の地図配色パターン使用モードデータをノ-

マルチモードに変更する（図7のステップS60、S61）。よって、描画部20は図3のステップS13でYESと判断し、バッファメモリ部8に格納された現在位置周辺の地図データを用いて、現在位置を中心とし、北を上向きとした所定の縮尺の地図画像を、地図データで定義された地図配色パターンに従いながら画像メモリ部19の中に描画する（ステップS14）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

この実施の形態によれば、車載用ナビゲーション装置1で作成した所望の地図配色パターンを地図配色パターン記憶部11に記憶させたり、外部の地図表示支援装置70、90で作成した地図配色パターンを車載用ナビゲーション装置1に直接転送するか或いは可搬型外部記憶部30を介在させて地図配色パターン記憶部11に記憶させたり、外部の多数の地図配色パターンを用意した地図表示支援装置50、60、70、80、90から、ネットワーク経由または直接または可搬型外部記憶部30を介在して入手した地図配色パターンを、地図配色パターン記憶部11の中に記憶させることができる。そして、地図配色パターン記憶部11に記憶された各地図配色パターンについて、マニュアル優先モードで使用するか否か、時間帯優先モードの昼の時間帯で使用するか否か、時間帯優先モードの夜の時間帯で使用するか否か、経路誘導優先モードの経路誘導モードオン時に使用するか否か、経路誘導優先モードの経路誘導モードオフ時に使用するか否かという使用条件を登録しておく、地図配色パターン使用モードをマニュアル優先モードにすると、地図データで定義された地図配色パターンの如何に関わらず、常に、マニュアル優先モード用に選択してあった所望の地図配色パターンに従い地図画像を描画し、表示させることができ、ユーザは表示部のタイプや装置の設置状況等に合わせて一番見やすくした地図配色パターンの地図画像を見ることができる。また、地図配色パターン使用モードを時間帯優先モードにすると、昼の時間帯はユーザ個人にとって昼の時間帯に一番見やすい所望の地図配色パターンで表示させ、夜の時間帯はユーザ個人にとって夜の時間帯に一番見やすい所望の地図配色パターンで表示させることもできる。更に、地図配色パターン使用モードを経路誘導優先モードにすると、経路誘導モードオンで強調誘導経路の表示により目的地まで経路誘導中は、ユーザ個人にとって強調誘導経路と地図画像の両方が一番見やすくなる所望の地図配色パターンで表示させ、経路誘導モードオフ中はユーザ個人にとって強調誘導経路の無い地図画像が一番見やすくなる所望の地図配色パターンで表示させることもできる。ユーザが予め地図配色パターン記憶部11に多数の地図配色パターンを記憶させておけば、マニュアル優先モード、時間帯優先モード、経路誘導優先モードという各地図配色パターン使用モード毎に最適な地図配色パターンを選択して登録できる。